

研究テーマ

「在留外国人と共に生きる」

研究グループ:「お話ファン」

原田 亮 岡 君子

藤本保士 中西喜由

発表会:2021年12月15日

第一部

1. テーマ設定の理由とねらいから

- ・ 日本における、少子高齢化が急激に進んでいる一方で、在留外国人は、増加の一途をたどり、その数 2020年12月現在 2,887 千人に及んでいる。
- ・ 国内の就業者の減少を、外国人で補われているのが実態である。かかる実態と、制度面を含む経緯につき調査する。
- ・ 現在の課題と将来の展望につき、一層の理解を深め、我々に何かできることはないかを考えていきたい。

在留外国人と共に生きる（17期 お話フアン）

在留外国人問題

1. 在留外国人の定義
2. 歴史的背景
3. 在留外国人の現状
4. 法整備
5. 在留外国人の貧困と犯罪

日本国の現状と課題

- ・ 少子化
- ・ 学生数減少
- ・ 先行きの不安
- ・ 高齢化
- ・ 労働力不足
- ・ 社会保障問題

在留外国人急増の状況

日本国における問題

1. 少子高齢化
2. 格差社会
3. 移民を認めない国の方針
4. 日本人の単一民族意識
5. コロナ問題

2.在留外国人とは

1) 定義

中長期在留者（3ヶ月以上）に特別永住者（旧朝鮮半島、台湾出身者）を加えた日本在留資格を有する者。

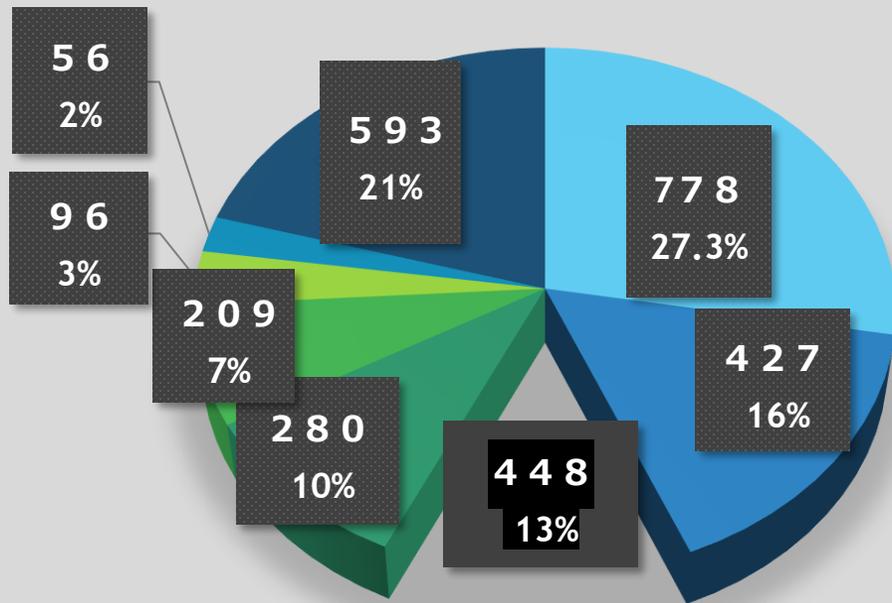
2) 在留外国人登録者数推移



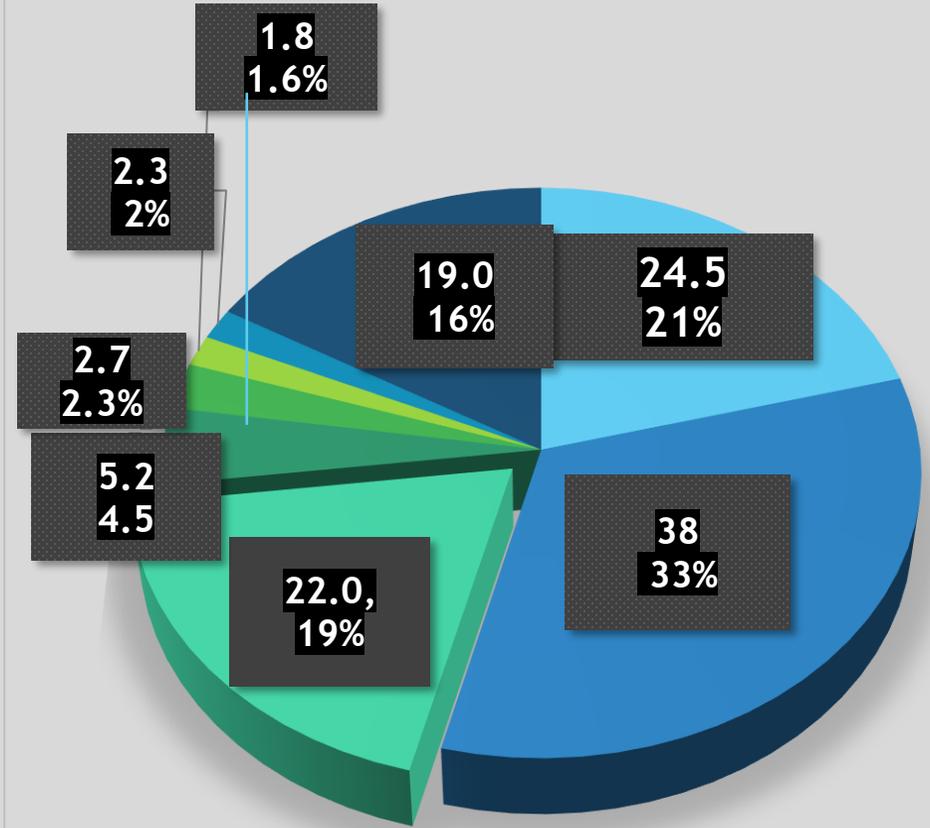
3) 出身国別在留外国人人数（千人） 2020年12月現在

全国（合計：2,887）

- 中国
- 韓国
- ベトナム
- フィリピン
- ブラジル
- ネパール
- 台湾
- その他



兵庫県（合計：115）



国籍・地域別在留外国人数推移

(単位：千人、各年12月末日)

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
総数	2,034	2,066	2,122	2,232	2,363	2,562	2,731	2,933	2,887
中国	652	649	655	666	696	781	765	814	778
韓国	489	481	465	458	453	451	450	446	427
ベトナム	52	72	100	147	200	262	331	412	448
フィリピン	203	209	218	230	244	261	271	283	280
ブラジル	191	181	175	173	181	191	202	212	209
ネパール	24	31	42	55	67	80	90	97	96
台湾	23	33	40	49	53	57	61	65	57
その他	400	410	427	454	469	479	561	604	592

4) 在留資格別外国人人数

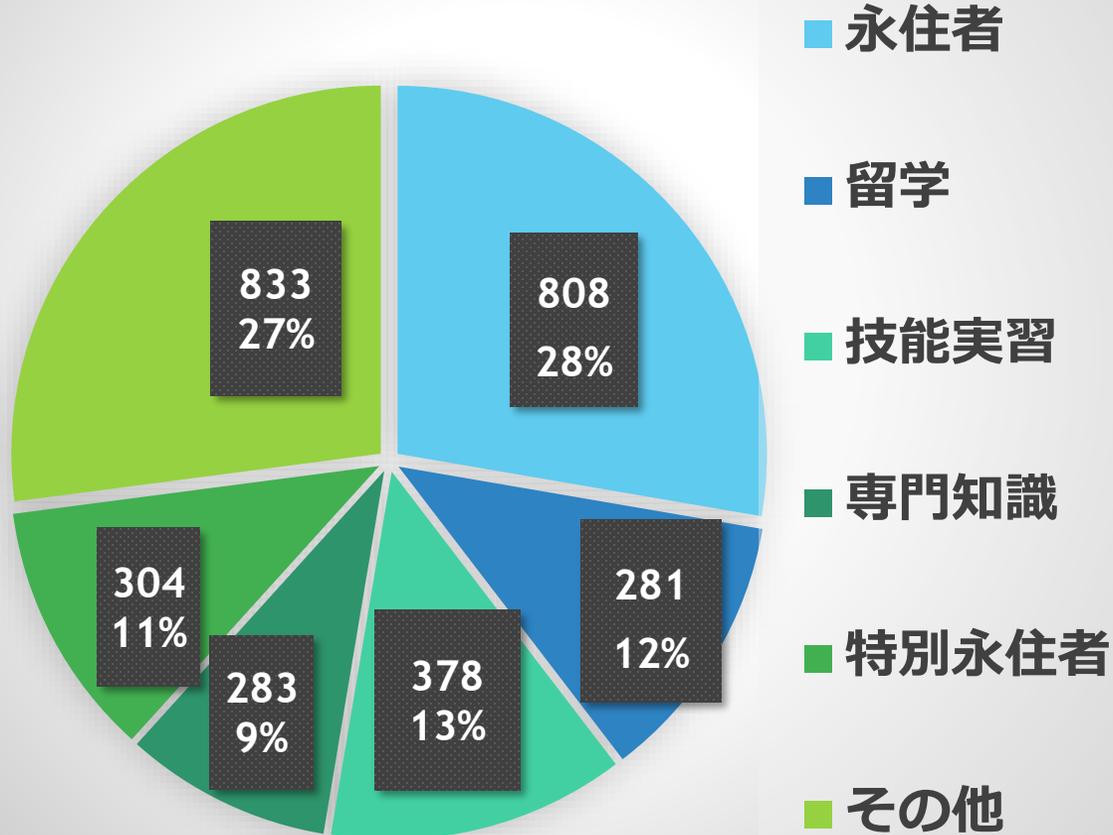
(千人 2020年12月現在)

* 介護はその他に含む

*

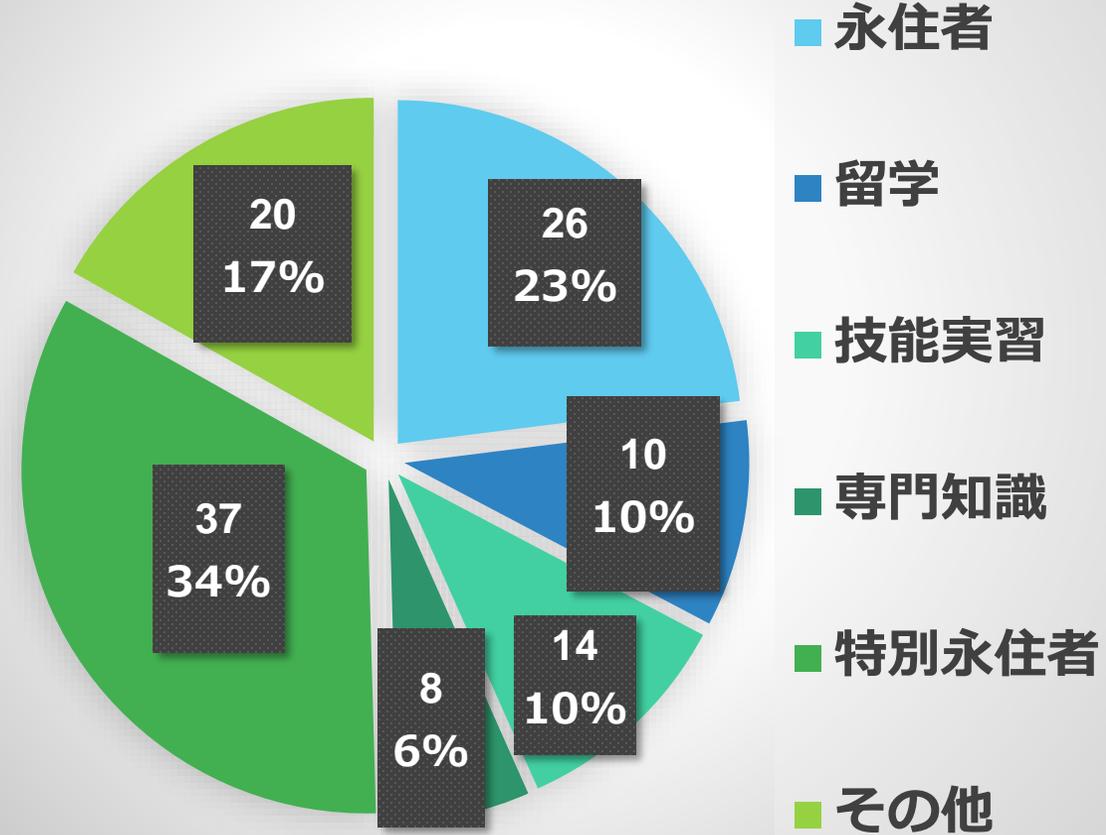
(全国)

合計 : 2,887*



(兵庫県)

合計 : 115*



全国資格別在留外国人数推移

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
総数	2,034	2,066	2,122	2,232	2,383	2,562	2,731	2,933	2,887
特別永住者	381	373	358	349	339	330	321	313	304
永住者	625	655	677	700	727	749	772	793	808
技能実習	151	155	168	193	229	274	328	411	378
留学	181	193	214	247	277	312	337	346	281
技術・人文知識 ・国際業務	112	115	123	138	161	189	226	272	283
定住者	165	160	160	162	169	180	192	205	201
家族滞在	121	122	126	134	149	167	182	201	200
日本人配偶者	162	151	145	140	139	141	142	145	143
その他	136	142	151	169	193	220	231	247	289

出展資料：法務省「在留外国人統計」

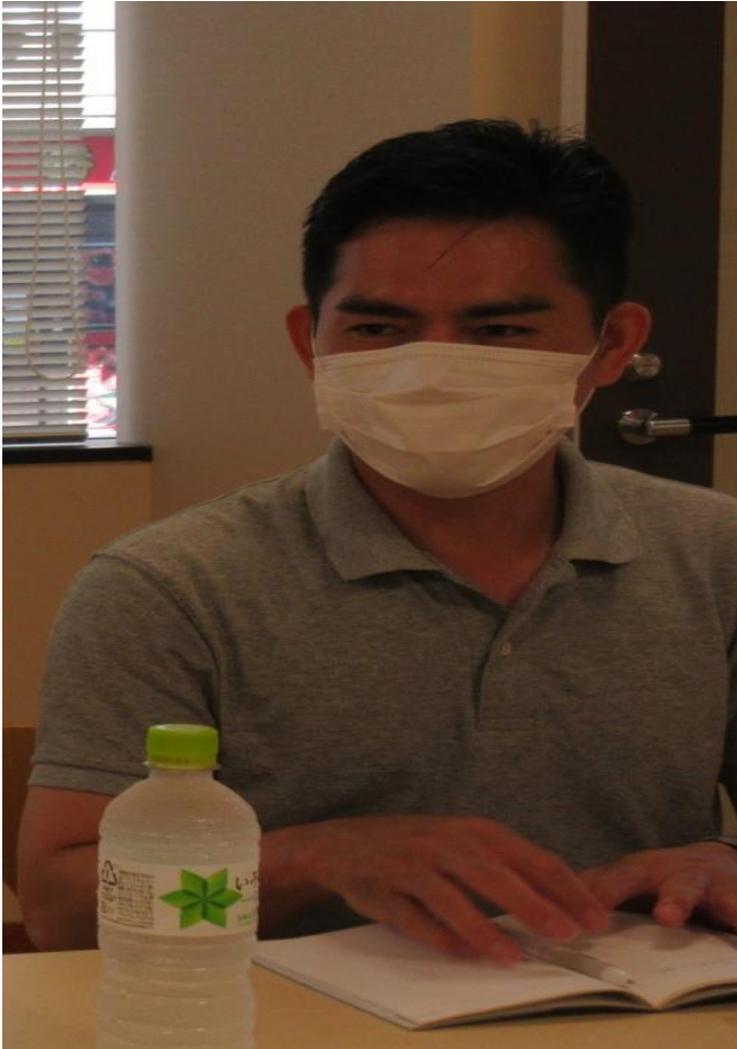
3. 技能実習生制度とは

- ・ 国際貢献を目的として、開発途上国の外国人にOJTを通じて技能移転することが本来のねらい。
- ・ 結果的には、国内の労働力の補完となっている。
- ・ 1993年に創設された制度「研修」を見直し、2010年に新しく作られた制度で、在留資格は「技能実習」

技能実習生との懇談



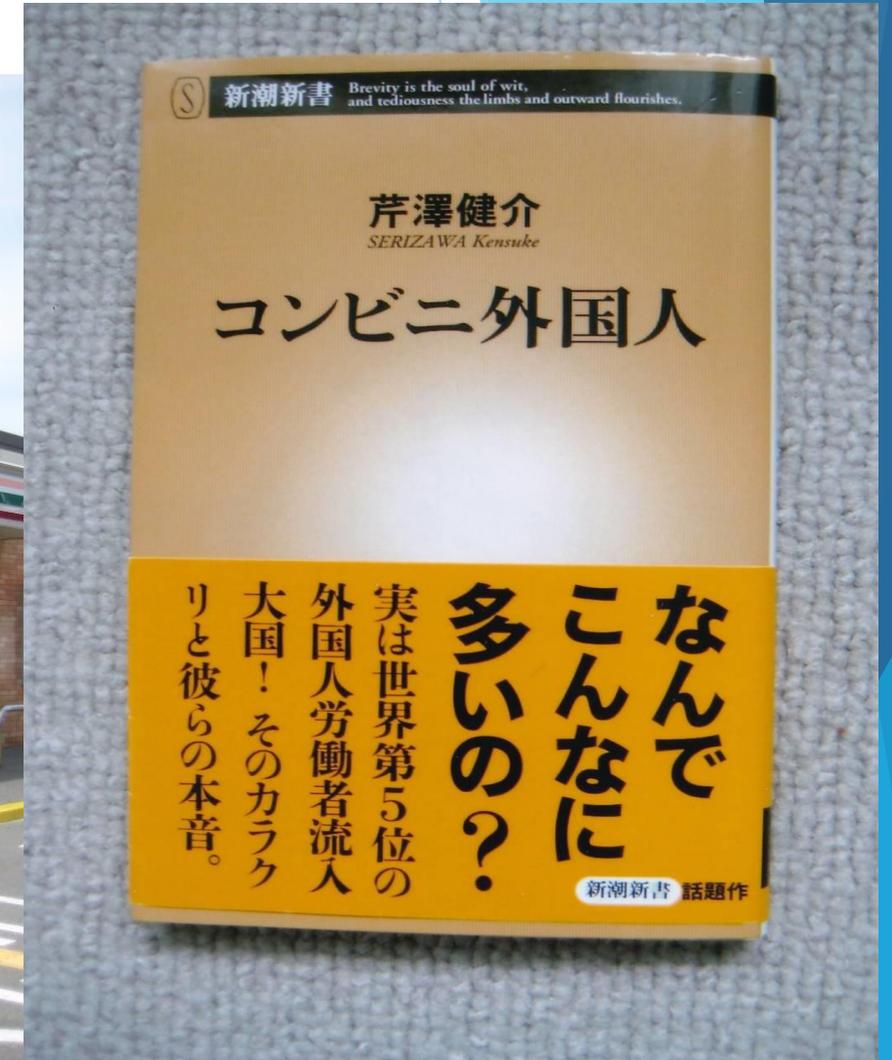
技能実習生派遣会社「ベトナム監理団体優京」社員への ヒヤリング (2020・8.1)



4. 留学生の増加 在留資格：「留学」

- ・ 中長期在留者の中では「永住者」「技能実習」について多く、2020年12月現在、281千人に付与されている資格。
- ・ 出身国別資格者は中国119千人、ベトナム66千人、ネパール24千人。
- ・ 通常日本語学校（最長2年3ヶ月）を終了した後、大学等受験。
全国で252の日本語学校が設置されている。
- ・ 1ヶ月28時間以内の就業（アルバイト）が認められている。勉学中心の 優秀な学生もいる一方で、在留資格の更新に苦慮する学生も多い。

コンビニで働く留学生



5. 介護に係る人材の確保 在留資格：「介護」

- ・ 高齢化が進む一方の日本で、切実な社会問題の一つ。
- ・ 団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、同高齢者は250万の増加。それに伴い介護従事者は36万人の不足となることが予想されている。
- ・ 他分野と同様、外国人に頼らざるを得ない状況になりつつある。
- ・ 2017年9月、在留資格「介護」が創設されるも、同資格の取得は、極めて困難。2020年12月現在取得者は1,714名のみ。

介護に関わる人材の確保とその施策

(1) 介護福祉士（2019年から）

- ・ 専門知識と技術がある人に厚生労働省が認定する国家資格
- ・ 3年以上の実技と研修を終えて国家試験に合格すること
- ・ 養成学校等の卒業生に暫定的に資格を与える特例措置もある

(2) 特例措置の延長

- ・ 特例措置を2026年まで延長継続
- ・ 卒業後5年以内に国家試験合格すること
- ・ 卒業後5年間介護実務に従事すること
- ・ 介護の人手不足解消に向けて日本での就労促進

(3) 介護福祉士をめざすベトナム女性

介護福祉士をめざすベトナム女性



第二部

ベトナム在留外国人に焦点化しての研究

ベトナム人社会への接近

ベトナム人会
ベトナムテト
日本語勉強会
親子の会
技能実習生との交流
留学生からの情報
日本語学校への訪問

理由・ベトナムとの歴史的つながり
・ベトナム難民の受入
・ベトナムの日本に対する期待

ベトナム社会 "外" からの接近

国の施策・動き
兵庫県国際交流課のヒヤリング
神戸市議会議長との懇談
研究者との交流
研究図書による研究
インターネットによる情報収集

・ベトナム在留外国人の現状
・コロナ禍における問題
帰国できないベトナム人
来日待機中の苦勞
帰国できないベトナム人
在留資格の喪失
働けない実習生
実習先の経営不振で不当解
技能実習生 2万人

研究の成果と課題

ベトナムに焦点化する理由

(1) 神戸におけるベトナム出身者の急増

2012.8 1,549名→2021.7 7,962名 (5倍以上)

(2) 神戸とベトナムの関係の深さ

神戸市とベトナム大手資本グループとの連携協定

締結 (2021.5.28)

▶ ベトナム人材の雇用

販路開拓 観光交流等

ベトナム人社会 “外” からの接近

- ・ 国の施策・動き（コロナ特例法等）
- ・ 兵庫県国際交流課のヒヤリング
（10/28藤原副課長）
- ・ 神戸市議会議長との懇談
（12/11神戸市議会壬生議長）
- ・ 研究者との交流（神戸大学准教授斎藤善久）
- ・ 研究図書による研究
- ・ 新聞・ネット等による情報収集

ベトナム人社会 “外” からの接近：国の動き

2019. 4. 1 **在留資格「特定技能」創設**
即戦力となる外国人の受け入れ
在留期間上限5年

2019 **介護の「特例措置」**
介護の「特例措置」の延長（2026年で）

ベトナム人社会 “外” からの接近：兵庫県動き

兵庫県国際交流課訪問（2020.10）

藤原国際交流課副課長対応

「兵庫県内在留外国人数・市区別人員数」

「国際交流の総合的推進について」

県内における先進的且つ特色ある取り組み地域紹介

ベトナム人社会 “外” からの接近 神戸市の動き

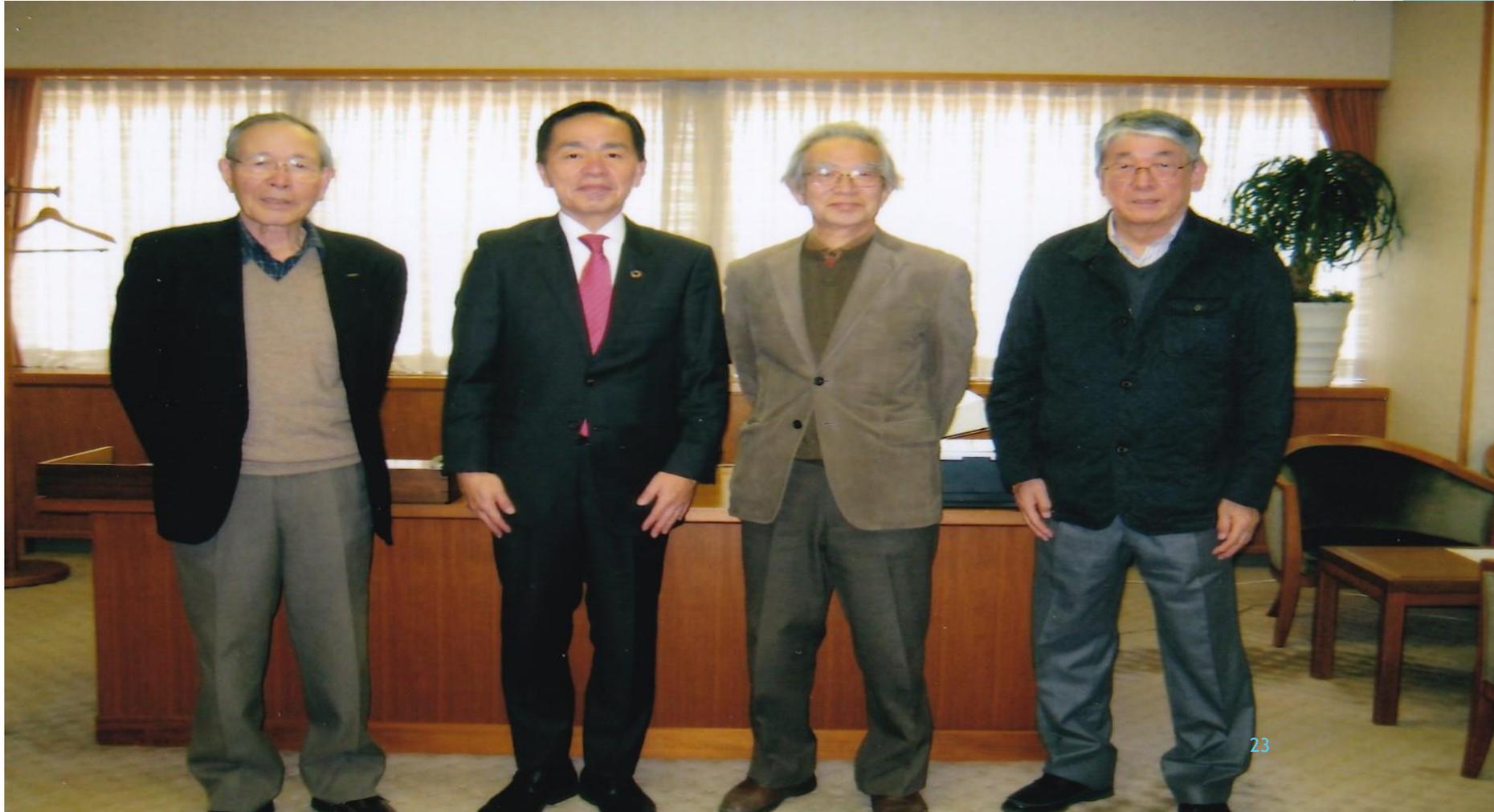
経済観光局海外ビジネスセンター訪問
(2020.1)

今井俊幸ビジネスセンター所長

資料「神戸市における外国人就労の取りみ」

具体化のための施策

神戸市議会壬生議長との懇談



神戸市議会壬生潤議長訪問

(2020.12)

SDGsの取り組み 「2030年めどに10年計画実施」

「誰も置き去りにしない施策」

神戸市が世界に誇る住み心地の良さ

温暖な気候

仕事の安定

教育の満足度

世界に誇る最先端医療の充実等

齋藤善久准教授プロフィール

- 神戸大学大学院国際協力研究科准教授
- 略歴 北海道大学大学院音楽研究科博士課程単位取得
日本学術振興会特別研究員（P D）
- 在留外国人の労働問題特にベトナム問題を研究
- NHK「かんさい熱視線」（2021年）において
在留外国人問題コメンテーター
- 新聞,雑誌等で在留外国人問題についてコメント

齋藤准教授によるベトナム男性への対応

2021.3 日本ベトナム友好協会兵庫県連

ベトナム男性との懇談・相談対応

技能実習生として来日→失踪

ビザ有効期限切れ

出国の手立ての相談

後日無事に出国できたとの連絡あり（7月）

2. ベトナム人社会への接近

- ・ 神戸ベトナム人会会長との懇談
- ・ 「ベトナムテト」の見学
- ・ 「日本語勉強会」「親子の会」見学・参加
- ・ 「ベトナム寺」訪問
- ・ ベトナム技能実習生との交流
- ・ 技能実習生派遣会社「ベトナム監理団体」社員ヒヤリング
- ・ 日本語学校の訪問

神戸ベトナム人会会長との懇談



神戸ベトナム人会会長オアンさん

ベトナム戦争後の混乱期にベトナム脱出（1993年）
ボートピープル→1か月で香港に漂着（4年過ごす）
その間に結婚、長男・長女授かる
兵庫県姫路定住促進センター（4か月過ごす）
その間に次男誕生
日本語と日本の生活習慣について学習
神戸に移動（新長田の靴工場に就労）
現在→困窮するベトナム人のお世話
ベトナム2世の子どもの日本語・ベトナム語の指導

ベトナムの正月テトの風景



「日本語勉強会」と「親子の会」見学



「日本語勉強会」「親子の会」

ベトナム人会会長オアンさんが中心に運営

二葉地域福祉センター

毎月第2・3・4日曜の14:00～16:00

- クラス分け
- ① 小学校クラス（ベトナム語の指導）
 - ② 中高生以上（日本語指導・検定試験対策）
 - ③ 日本語基礎クラス（来日間もない大人対象）

指導者:ベトナム人並び日本人によるボランティア

注) コロナによる緊急事態宣言中は休止

ベトナム寺訪問



日本語学校写真

東洋日本語学院

神戸外国語教育学院



日本語学校の教員との懇談



コロナ禍におけるベトナム在留外国人問題

来日出来ないベトナム

我が国においては

- ・ 留学生 → 受け入れ学校の定員割れ
- ・ 技能実習生 → 企業や地方の労働力不足

ベトナムにおいては

- ・ 収入無しで待機
- ・ 来日の見通し無しで待機

帰国できないベトナム在留外国人

- ・ 留学生 在留資格の喪失
働けない留学生困窮(2020.5.10朝日)
- ・ 技能実習生 実習先の経営不振で仕事の減少
最悪の場合不当解雇問題
- ・ 帰れぬ技能実習生2万人(2020.8.3朝日)
出国できるまでの待機場所確保困難
(ベトナム寺で待機する若者)

ベトナム寺で待機する若者



コロナ禍で急増した様々な問題

- ・ **失踪者の場合→不法滞在者扱い**

「仮放免」者の急増（2020.9.18朝日）

- ・ **生活困窮による犯罪の増加**

偽造在留カード利用者の増加

風俗営業への就労

窃盗等の犯罪

- ・ **労働力の不足**

実習生のいない介護施設悲鳴（2020.8.28朝日）

実習生依存度の高い地方・被災地

行政の対応

- ・ 帰国できない在留外国人への就労可能な在留資格付与
(コロナ特例)
- ・ アルバイト等の資格外活動の許可
- ・ 元技能実習生等への就労先マッチング支援
- ・ 生活困窮者への支援
- ・ 情報発信の強化・徹底
- ・ 犯罪防止
- ・ 感染症対策

「在留外国人と共に生きる」ために

何が必要か : ????

何ができるか : ????

在留外国人と共に生きるために何が必要か

(1) 受入側にとっては

- ・ 「郷に入れば郷に従え」という発想を捨てること
- ・ 「以心伝心」とか「察する」という意思疎通を図ることはしない。
- ・ 「共存」と「共生」とは違うことを認識すること
- ・ 在留外国人の生活様式や文化に対する理解とサポート
- ・ 相手が理解できる話し方、速度、言葉の使い方を心掛けること
- ・ 行政として、在留外国人にとって必要なサービス提供を行うこと

(2) 在留外国人にとっては

- ・ 日本語教育と共に母国語教育を推進すること
- ・ 日本で生活する上で必要となる生活情報を獲得すること

地域における多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」

(明治大学国際日本学部専任教授山脇啓造教授)

何ができるか

1. 日本語習得への支援

在留外国人が最初にぶつかる壁はやはり言葉の問題

2. 介護資格習得への支援

我が国の高齢化に伴い喫緊の課題

3. 相談窓口

在留外国人の個々の相談・つながり・情報共有

4. 神戸国際コミュニティーセンターとの連携

研究拠点である長田区に外国人支援施設

・ ・ ・ 「さらに学んで次世代のために」 ・ ・ ・

ご清聴ありがとうございました